I-O DATA

モバイルデータ通信アダプタ

SnapConnect

(PC9664シリーズ)

取扱説明書

ダミー表紙

株式会社 アイ・オー・データ機器

81206-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
5) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
6) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- IBM, WorkPadは、IBM Corporation.の登録商標です。
- PalmComputing,HotSyncは、PalmComputing,Inc.またはその子会社の登録商標です。
- Palm,PalmOS,PalmⅢc,PalmVxは、PalmComputing,Inc.またはその子会社の商標です。
- Handspring、Springboard,Visor、およびHandspringロゴは、Handspring,Inc.の商標または登録商標です。
- TRGproは、TRGproducts,Inc.の商標です。
- cdmaOneは、CDG（CDMA Development）の商標です。
- Palmscapeは、株式会社イリンクスの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

SnapConnect(PC9664シリーズ)　取扱説明書
2001.Feb.08　81206-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

目次

1. ご使用になる前に 1
- ●特長 1
- ●同梱構成品 2
- ●ユーザー登録について 3
- ●対応機種 3
- ●対応通信事業者 4
- ●取り扱い上の注意 4
- ●付属の単4アルカリ電池について 4
- ●アプリケーションについて 5

2. 取り付け 6
- ●PC9664VRの場合
  - 各部の名称・機能 7
  - ケーブル 8
  - オプション品（別売） 8
  - 本製品の取り付け 9
  - 本製品の取り外し 10
  - 電池を交換する場合 10
- ●PC9664Ⅴの場合
  - 各部の名称・機能 11
  - 付属ケーブル 13
  - 本製品の取り付け 14
  - 本製品の取り外し 15
  - 電池を交換する場合 16
- ●PC9664Ⅲの場合
  - 各部の名称・機能 17
  - 付属ケーブル 18
  - 本製品の取り付け 19
  - 本製品の取り外し 19
  - 電池を交換する場合 20

3. ソフトウェアの設定 21

4. 困ったときには 28

付録1 ATコマンド一覧 30
ATコマンド（PDC） 31
ATコマンド（PHS） 42
ATコマンド（cdmaOne） 50
ATコマンド（feelH″,H″） 55

付録2 ハードウェア仕様 63

PLANTコールセンターへのお問い合わせ..... 65
修理について 66

このたびは、モバイルデータ通信アダプタ『SnapConnect』（PC9664シリーズ）をお買い上げいただきありがとうございます。

1. ご使用になる前に

特長

● **国内のあらゆる携帯電話・キャリア・サービスに対応！**

デジタル携帯電話(PDC)･cdmaOne･PHS･feelH″(フィールエッジ)･H″(エッジ)･ドッチーモなどの携帯電話に対応しています。また、各社のパケット通信サービス（NTTドコモパケット通信サービス、PacketOne）にも対応しており、携帯電話・キャリア・サービスを選びません。

● **安心設計！（PC9664VR）**

ハンドスプリング社のSpringboard規格※に準拠しました。

※Springboard規格：ハンドスプリング社考案の拡張規格

● **Palm、WorkPadシリーズ専用設計（PC9664Ⅴ,PC9664Ⅲ）**

純正のモデムと同一デザインを採用し、デザイン上の違和感はありません。

※注意

1) **日本語Palm OS 3.5では、対応するFAXソフトが確認できないため、FAX通信を保証しておりません。**
   日本語Palm OS 3.1では、「DBFAX」にてFAX通信に対応しています。
   ただし、LOWモードに設定してご利用ください。
2) **PC9664VRはFAX機能をサポートしておりません。**

同梱構成品

箱の中を確認します。
万が一不足品がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

●PC9664VR

内容	個数
SnapConnect(PC9664VR)	1台
PDC用ケーブル	1本
feelH″・H″&α-DATA32対応電話機(DDIポケット)用ケーブル	1本
ツール集「SnapConnect Tools」（CD-ROM） ・ブラウザ「Palmscape 3.1日本語版(製品版)」 ・メーラー「PalmscapeMail 1.0日本語版(無料版)」 ・Palmscape用サービスコンテンツ 「チャンネル（プレビュー版）」	1枚
DIONオンラインサインアップ用ソフト（CD-ROM）	1枚
AT&T WorldNetオンラインサービスキット（CD-ROM）	1枚
単4アルカリ乾電池	2本
取扱説明書(本書)	1冊
Palmscape用ユーザー登録ハガキ	1枚
ハードウェアシリアルNo.シール	1枚
ハードウェア保証書	1枚
ユーザー登録カード	1枚
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊

cdmaOneやPHSに接続される場合
別途オプション品の専用ケーブルをお求めください。詳しくは8ページをご覧ください。

●PC9664Ⅴ,PC9664Ⅲ

内容	個数
SnapConnect(PC9664Ⅴ,PC9664Ⅲ)	1台
PDC用ケーブル	1本
cdmaOne用ケーブル	1本
PHS(NTTﾄﾞｺﾓ,ｱｽﾃﾙ)用ケーブル	1本
feelH″・H″&α-DATA32対応電話機(DDIポケット)用ケーブル	1本
10円メールクライアント（フロッピーディスク）	1枚
DIONオンラインサインアップ用ソフト（CD-ROM）	1枚
AT&T WorldNetオンラインサービスキット（CD-ROM）	1枚
単4アルカリ乾電池	2本
取扱説明書(本書)	1冊
ハードウェアシリアルNo.シール	1枚
ハードウェア保証書	1枚
ユーザー登録カード	1枚
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊

ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
詳細については、ユーザー登録カードを参照してください。

対応機種

（日本語Palm OSのみ対応）

SnapConnect	対応機種	
	メーカー	機種
PC9664VR	Handspring	Visor Delux/Platinum/Prism
PC9664Ⅴ	IBM	WorkPad c3 40J/50J
	Palm Computing	Palm Ⅴx
PC9664Ⅲ	IBM	WorkPad 30J/31J
	Palm Computing	Palm Ⅲc
	TRG products	TRG pro

対応通信事業者

デジタル携帯電話	NTTドコモ	・PDC方式デジタル （800MHz、1.5GHzタイプ：201HYPER以降） ・NTTドコモパケットデータ通信サービス ・ドッチーモ
	au	・PDC方式デジタル ・cdmaOne方式デジタル
	J-PHONE	・PDC方式デジタル
PHS	NTTドコモ	・PIAFS 64/32Kbps ・ドッチーモ
	アステル	・PIAFS 32Kbps
	DDIポケット	・PIAFS 64/32Kbps （feelH″端末,H″端末,α-DATA32対応電話機）

取り扱い上の注意

本製品は精密機器です。ご使用にあたっては以下の注意事項を必ずお守りください。

- 薬品が触れる場所や薬品のそばでの使用／保管はお避けください。故障、変色、変形の原因となります。
- 本装置の汚れは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いてふいたりしますと、変形や変色の原因になることがあります。
- 漏電や故障の原因になりますので、本体や付属ケーブルの上に重いものを乗せたり、付属ケーブルを引っ張ったりしないでください。
- 内部に異物（水、コーヒーなど）が入らないようにご注意ください。
- テレビやラジオなどの強い磁界を発生する装置の近くで使用することはお避けください。本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となります。
- 添付のケーブルは消耗品です。ご購入時の問題以外は保証期間内であっても有償となりますので予めご了承ください。

付属の単4アルカリ乾電池について

付属の単4アルカリ乾電池は、動作確認をしていただく為のものです。
実際にご使用になる場合は、別途、単4アルカリ乾電池をお買い求めの上お使いください。
また、電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

アプリケーションについて

●PC9664VRには、「SnapConnect Tools」内に、イリンクス社製のブラウザ「Palmscape 3.1日本語版(製品版)」とメーラー「PalmscapeMail 1.0日本語版(無料版)」、Palmscape用サービスコンテンツ「チャンネル（プレビュー版）」が添付されています。
詳細は、アプリケーションの「readme.txt」またはコンテンツを参照してください。

●PC9664Ⅴ,PC9664Ⅲには、パソコンで10円メールが利用できるユーティリティ「10円メールクライアント」が添付されています。NTTドコモのデジタル携帯電話を使用して、通話料金10円でメールの送受信が可能になります。
詳細は、「10円メールクライアント」の「readme.txt」を参照してください。

●本製品には、今すぐインターネットを始めようという方のために、オンラインで簡単にプロバイダ契約ができる「DIONオンラインサインアップ用ソフト(CD-ROM)」と「AT&T WorldNetオンラインサービスキット(CD-ROM)」が添付されています。
詳細は、それぞれのCD-ROM内をご覧ください。

2. 取り付け

ここでは、本製品の取り扱い方を説明します。
お使いの製品のページをご覧ください。

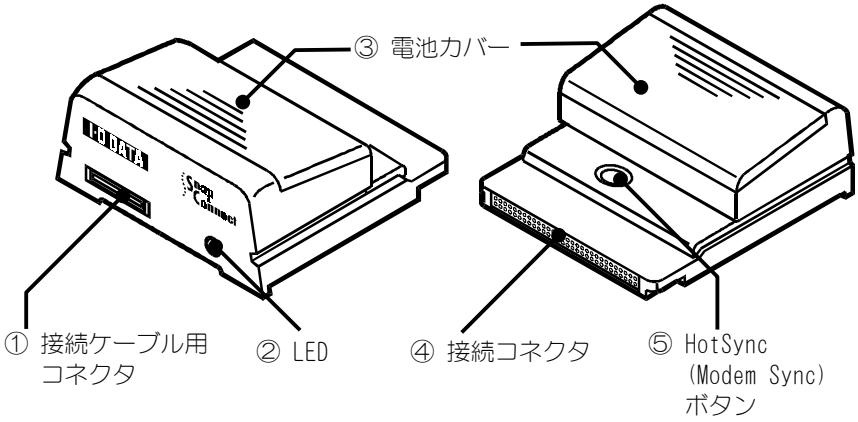
PC9664VRの場合 ⇨ 次ページへ

PC9664Ⅴの場合 ⇨ 11ページへ

PC9664Ⅲの場合 ⇨ 17ページへ

PC9664VRの場合

●各部の名称・機能



① 接続ケーブル用コネクタ
使用する電話機に対応したケーブルを接続します。

② LED
本製品の動作状況を表示します。

LED表示	表示色	本製品の状態
消灯※	ー	動作停止
点灯	緑	待機中
	橙	(1) 本製品の初期化処理中 (2) 発信中
点滅	緑	データ通信中
	赤	電池電圧低下

※ 通信が開始されるまでLEDは点灯しません。

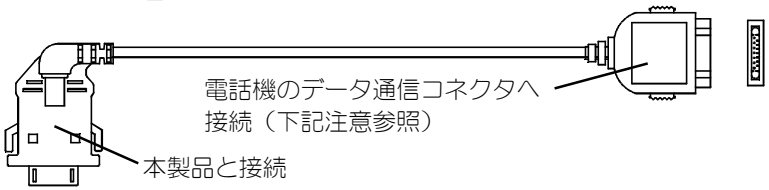
③ 電池カバー
電池交換時、電池カバーをスライドして開きます。

④ 接続コネクタ
Visorと接続します。

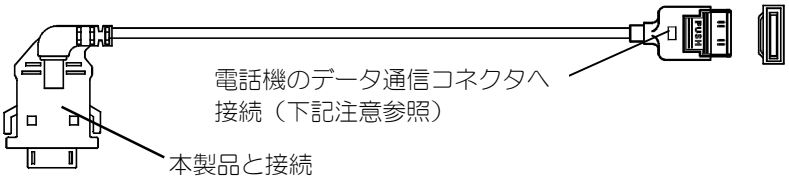
⑤ HotSync(Modem Sync)ボタン
本製品取り付け時に押下すると、VisorのModem Syncが起動されます。

●ケーブル

PDC(ドッチーモ含む)用ケーブル



feelH″・H″ &α-DATA32対応電話機(DDIポケット)用ケーブル

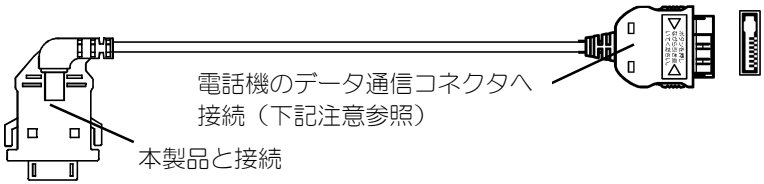


注 意

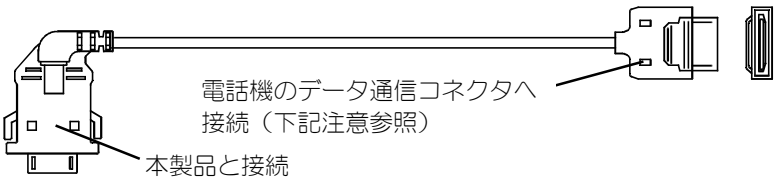
1)コネクタの向き（裏表）に注意して接続してください※。
無理に入れようとすると故障の原因になります。
※電話機に対し付属ケーブルのコネクタを裏側にして接続する場合があります。
2)ケーブルは消耗品です。ご購入時の問題以外は保証期間内であっても有償となります。予めご了承ください。

オプション品（別売）

cdmaOne用ケーブル(OP9664-CDMA)



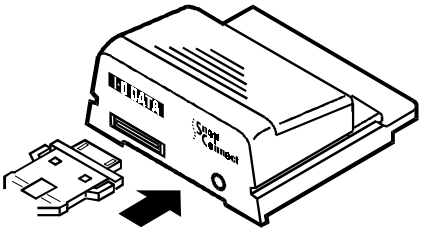
PHS(NTTドコモ、アステル)用ケーブル(OP9664-PHS)



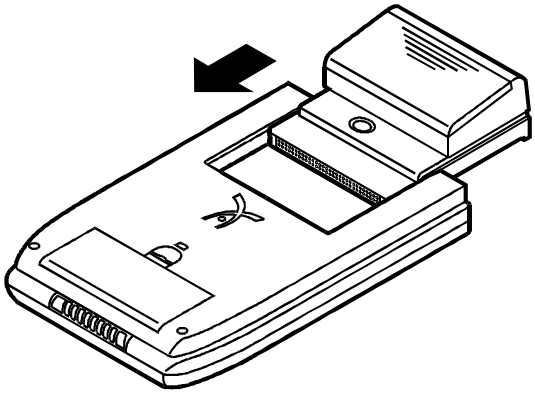
●本製品の取り付け

① 使用する電話機に対応した接続ケーブルを本製品の接続ケーブル用コネクタに接続します。

注意！:コネクタの向きに注意してください。
入りづらい時は無理に入れず、向きを確認してください。



② Visorのスロットプロテクタを外し、本製品をVisorのスロットに差し込みます。

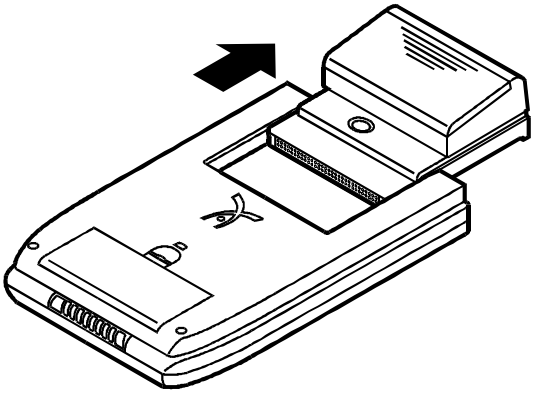


参考

本製品をVisorに取り付けただけでは、本製品のLEDは点灯しません。
LEDは通信時のみ点灯します。

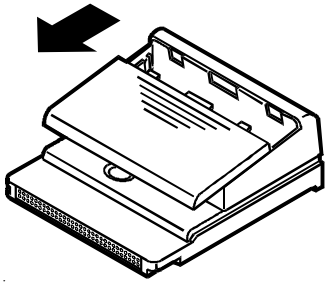
●本製品の取り外し

① Visorの電源を切ります。
② Visorのスロットから本製品を取り外し、Visorにスロットプロテクタを取り付けます。



●電池を交換する場合

電池を交換する場合は、本製品上面のカバーを以下の様にスライドさせて行ってください。電池は、単4アルカリ乾電池2本を必ずご使用ください。

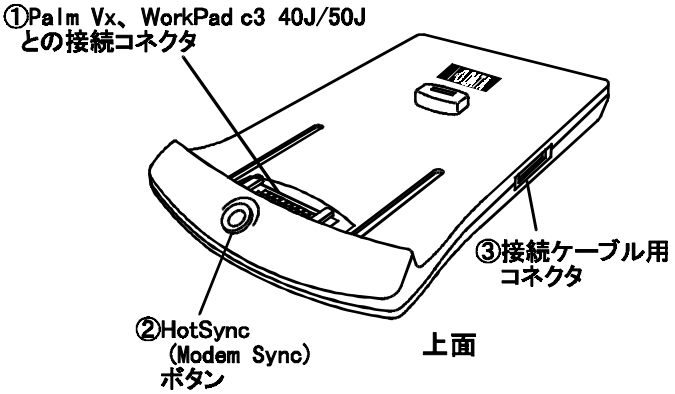


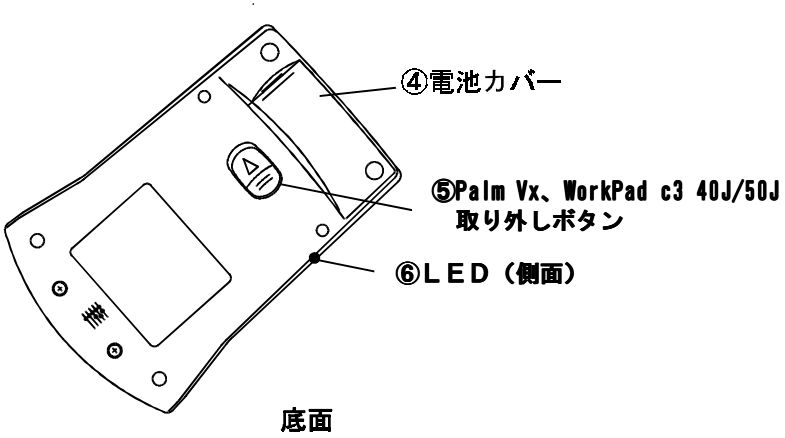
注 意

1) 添付している電池は動作確認していただく為のものです。実際にご使用になる場合は、別途お買い求めの上ご使用ください。
2) 必ずアルカリ電池をお使いください。マンガン電池は使用しないでください。
3) 入れるときは電池の向きに注意してください。
4) アルカリ電池の交換は、必ず２本まとめて行ってください。（１本のみの交換は行わないでください。）

PC9664Vの場合

●各部の名称・機能





① 接続コネクタ
Palm、WorkPadを接続します。

② HotSync(Modem Sync)ボタン
本製品装着時にHotSyncボタンを押下するとPalm、WorkPadのModem Syncが起動されます。

③ 接続ケーブル用コネクタ
使用する電話機に対応したケーブルを接続します。

④ 電池カバー
電池交換時、電池カバーを上方向に持ち上げて開きます。

⑤ 取り外しボタン
Palm、WorkPadから取り外します。

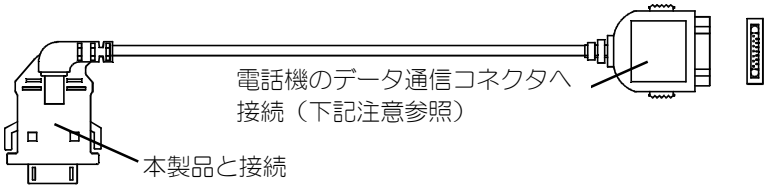
⑥ LED
本製品の動作状況を表示します。

LED表示	表示色	本製品の状態
消灯※1	ー	動作停止
点灯	緑※2	待機中
	橙	(1) 本製品の初期化処理中 (2) 発信中
点滅	緑	データ通信中
	赤	電池電圧低下

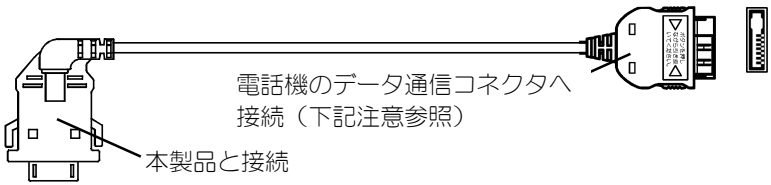
※1：日本語Palm OS 3.5では、通信が開始されるまでLEDは点灯しません。
※2：付属ケーブルを本製品に接続して、LEDは初めて緑に点灯します。付属ケーブルを接続しない時は、LEDは点灯しません。

●付属ケーブル

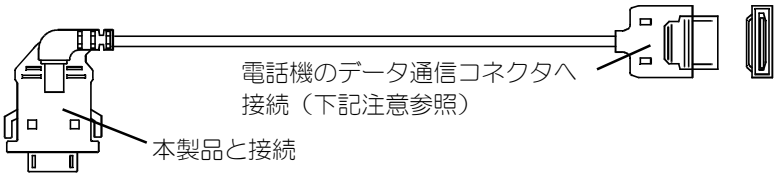
PDC(ドッチーモ含む)用ケーブル



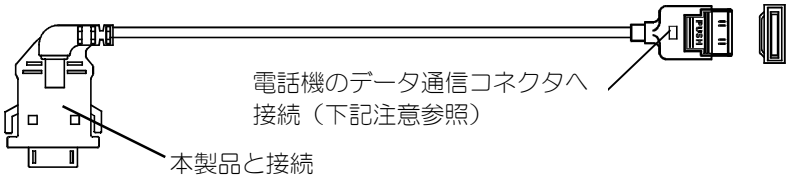
cdmaOne用ケーブル



PHS(NTTドコモ、アステル)用ケーブル



feelH″・H″ &α-DATA32対応電話機(DDIポケット)用ケーブル



注 意

1) 電話機に接続する場合はコネクタの向き（裏表）に注意して接続してください※。無理に入れようとすると故障の原因になりますのでご注意ください。
※電話機に対し付属ケーブルのコネクタを裏側にして接続する場合があります。
2) ケーブルは消耗品です。ご購入時の問題以外は保証期間内であっても有償となりますので予めご了承ください。

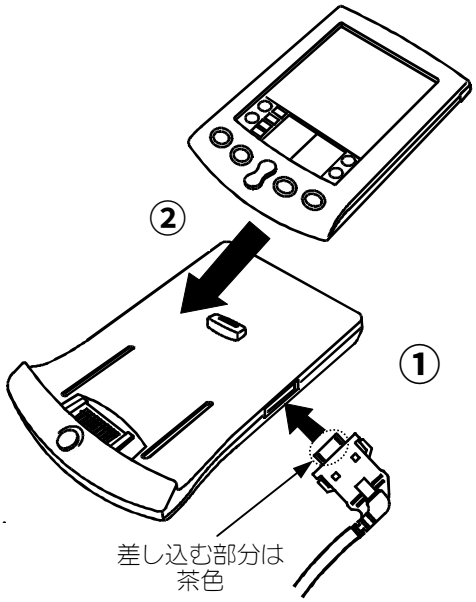
●本製品の取り付け

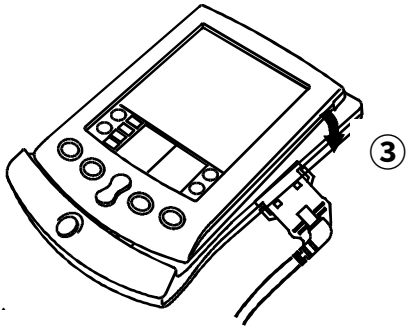
① 使用する電話機に対応した接続ケーブルを本製品の接続ケーブル用コネクタに接続します。

注意！）コネクタの向きに注意して差し込んでください。
入りづらい時は無理に入れずに向きを確認してください。

② 本製品にPalm、WorkPad本体を斜め上から接続コネクタに差し込みます。

③ Palm、WorkPadを本製品に押し付けます。カチッとしっかりとめてください。





参考

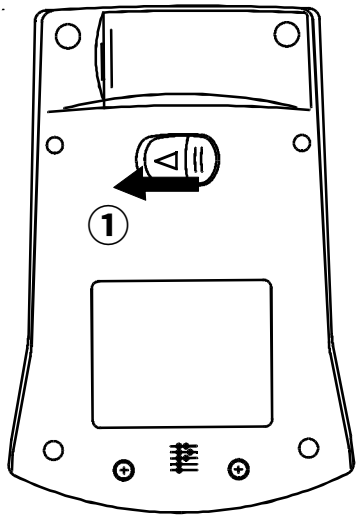
《日本語Palm OS 3.1以前の場合》
上記手順に従って本製品を取り付けると、LEDが橙色に点灯し、本製品の初期化処理が実行されます。LEDが点灯しない場合は、電池をご確認ください。
本製品の初期化処理終了後に、LEDは緑色の点灯に変わります。

《日本語Palm OS 3.5の場合》
上記手順に従って本製品を取り付けますが、装着したのみではLEDは点灯しません。LEDは通信時のみ橙色に点灯します。

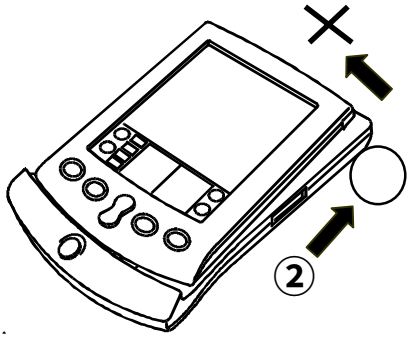
●本製品の取り外し

①本製品を取り外す場合は、底面の取り外しボタンを矢印方向にスライドさせてください。

注意！）Palm、WorkPadの電源が切れていることを確認してください。

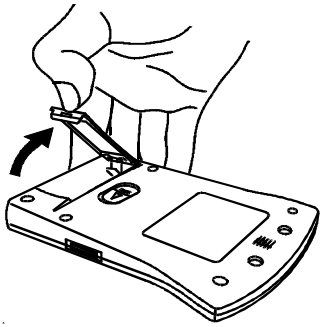


②Palm、WorkPadを本製品から矢印の方向に引っ張って外してください。（〇の矢印方向）
×の矢印方向に持ち上げて外さないでください。



●電池を交換する場合

電池を交換する場合は、本製品底面の電池カバーを以下の様にあけてください。電池は、単4アルカリ乾電池2本を必ずご使用ください。

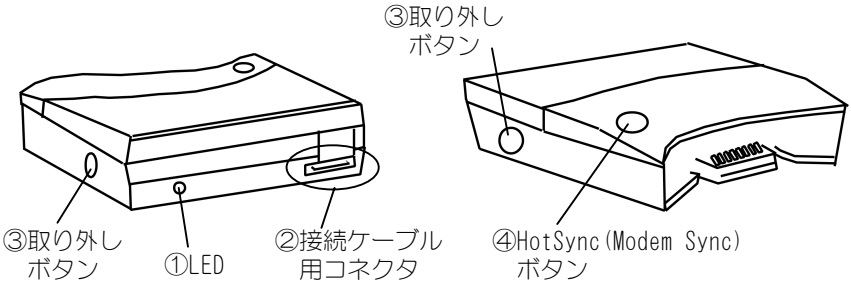


注 意

5) 添付している電池は動作確認していただく為のものです。実際にご使用になる場合は、別途お買い求めの上ご使用ください。
6) 必ずアルカリ電池をお使いください。マンガン電池は使用しないでください。
7) 入れるときは電池の向きに注意してください。
8) アルカリ電池の交換は、必ず２本まとめて行ってください。（１本のみの交換は行わないでください。）

PC9664Ⅲの場合

●各部の名称・機能



① LED
本製品の動作状況を表示します。

LED表示	表示色	本製品の状態
消灯※	ー	動作停止
点灯	緑	待機中
	橙	(1)本製品の初期化処理中 (2)発信中
点滅	緑	データ通信中
	赤	電池電圧低下

※ 日本語Palm OS 3.5では、通信が開始されるまでLEDは点灯しません。
（TRG proを除く）

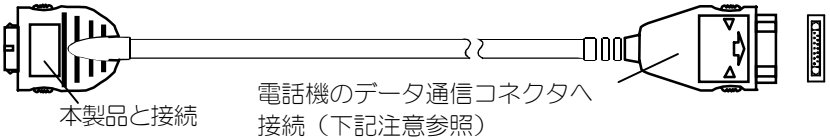
② 接続ケーブル用コネクタ
使用する電話機に対応したケーブルを接続します。

③ 取り外しボタン
両サイドのボタンを押し込み、Palm,WorkPad,TRG pro本体から取り外します。

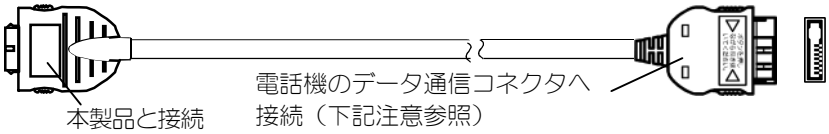
④ HotSync(Modem Sync)ボタン
本製品を装着時にHotSyncボタンを押下するとPalm,WorkPad,TRG proのModem Syncが起動されます。

● 付属ケーブル

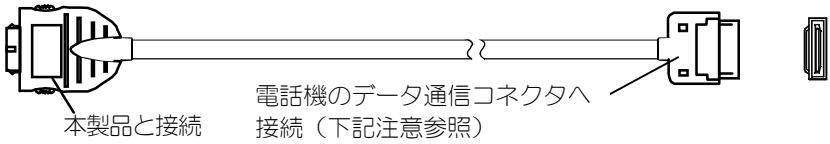
PDC(ドッチーモ含む)用ケーブル



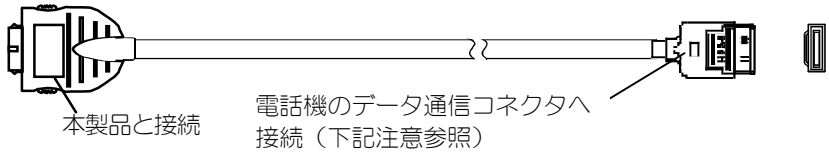
cdmaOne用ケーブル



PHS(NTTドコモ, アステル)用ケーブル



feelH″・H″ &α-DATA32対応電話機(DDIポケット)用ケーブル



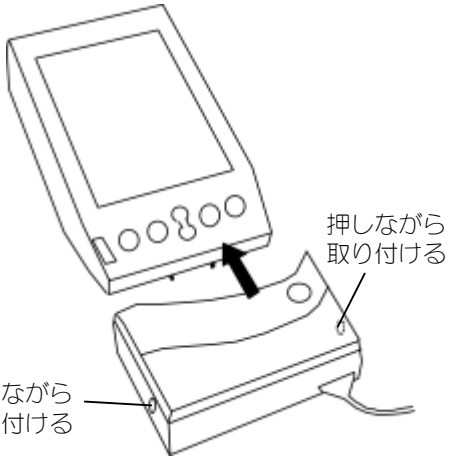
注 意

1) 電話機に接続する場合はコネクタの向き（裏表）に注意して接続してください※。無理に入れようとすると故障の原因になりますのでご注意ください。
※電話機に対し付属ケーブルのコネクタを裏側にして接続する場合があります。
2) ケーブルは消耗品です。ご購入時の問題以外は保証期間内であっても有償となりますので予めご了承ください。

●本製品の取り付け

① 使用する電話機に対応した接続ケーブルを本製品の接続ケーブル用コネクタに接続します。

② 本製品をPalm, WorkPad, TRG pro本体に取り付けます。
（両側の取り外しボタンを押しながら取り付けてください。）

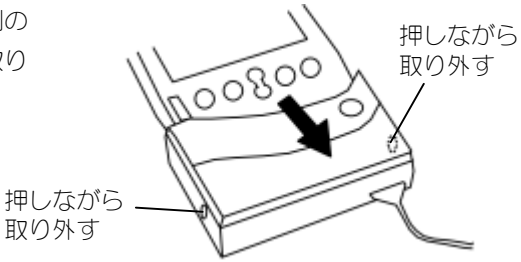


参考

《日本語Palm OS 3.1以前の場合》
上記手順に従って本製品を取り付けると、LEDが橙色に点灯し、本製品の初期化処理が実行されます。LEDが点灯しない場合は、電池をご確認ください。
本製品の初期化処理終了後に、LEDは緑色の点灯に変わります。
《日本語Palm OS 3.5の場合》
上記手順に従って本製品を取り付けますが、装着したのみではLEDは点灯しません。LEDは通信時のみ橙色に点灯します。
ただし、TRG proの場合は《日本語Palm OS 3.1以前の場合》と同じになります。

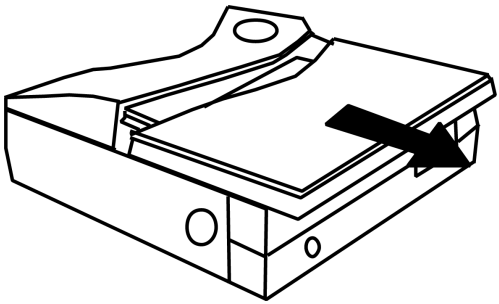
●本製品の取り外し

本製品を取り外す場合は、両側の取り外しボタンを押しながら取り外してください。



●電池を交換する場合

電池を交換する場合は、本製品上面のカバーを以下の様にスライドさせて行ってください。電池は、単4アルカリ乾電池2本を必ずご使用ください。



注 意

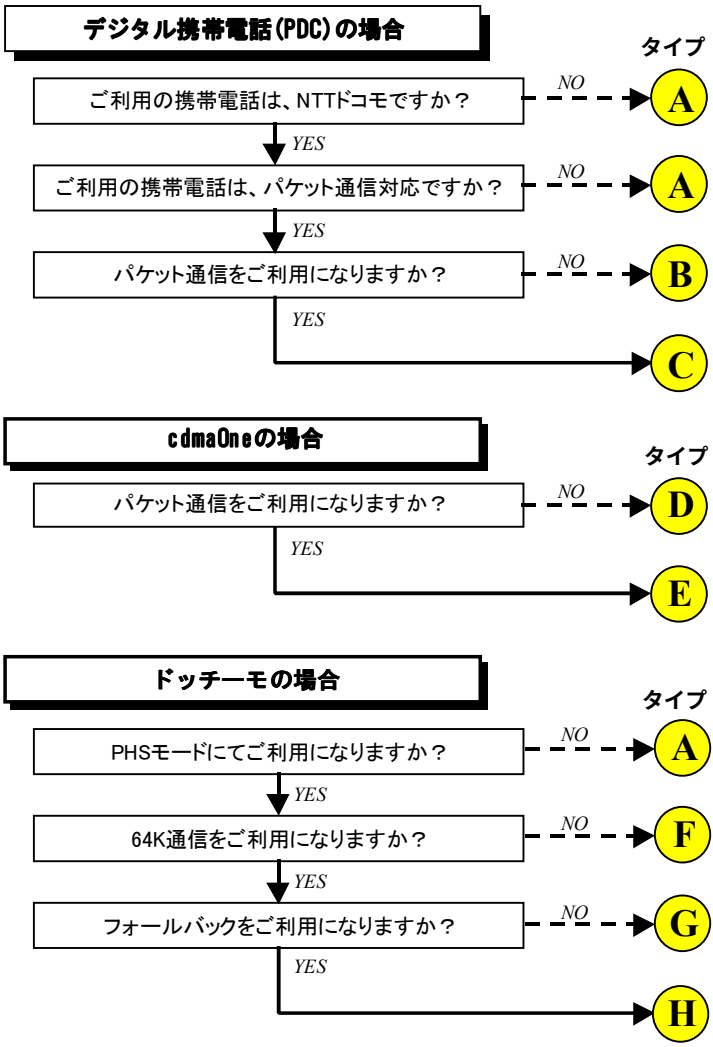
1) 添付している電池は動作確認していただく為のものです。実際にご使用になる場合は、別途お買い求めの上ご使用ください。
2) 必ずアルカリ電池をお使いください。マンガン電池は使用しないでください。
3) 入れるときは電池の向きに注意してください。
4) アルカリ電池の交換は、必ず２本まとめて行ってください。（１本のみの交換は行わないでください。）

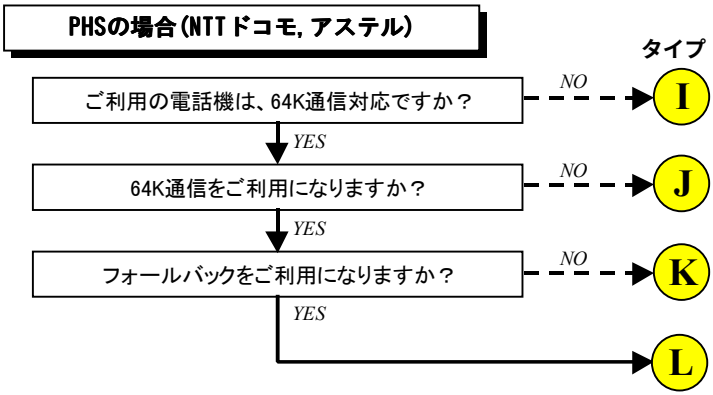
3．ソフトウェアの設定

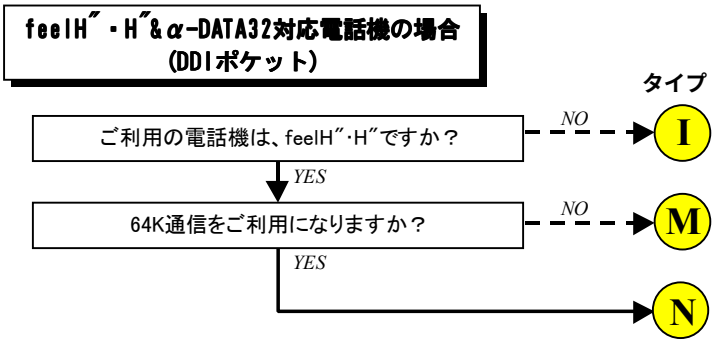
本製品の設定

1 通信方式を判別します。

以下のフローチャートにて判別してください。
タイプが決定しましたら、23ページの表をご覧ください。







参考

《フォールバックとは》
通信状況などにより、指定した速度（PIAFS 64K）で通信できない場合、自動的に速度を落として（PIAFS 32K）通信する機能を「フォールバック」といいます。フォールバックしない場合、指定速度で通信できない場合は、通信不可となります。

《DDIポケットの電話機について》
DDIポケットの電話機の一部（Panasonic製）において、電話機側の設定にて「データ通信用ケーブル」をOFFにする必要があります。

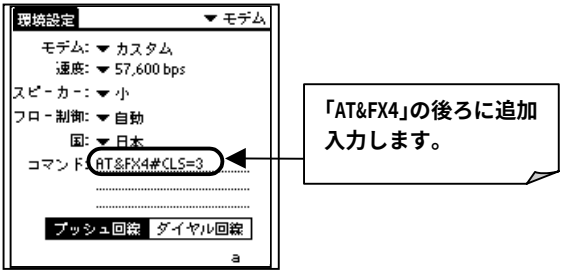
タイプ	通信方式	通信速度 (Kbps)	電話番号 追加設定	ATコマンド 追加設定
A	PDC	9.6		
B	PDC	9.6	J	
C	NTTドコモパケット通信	28.8/9.6		
D※	回線交換	14.4/9.6	J	
E※	PacketOne	64/14.4/9.6		
F	PIAFS1.0	32	#32	#CLS=3
G	PIAFS2.0	64		#CLS=3
H	PIAFS2.0	64/32		#CLS=3S142=1
I	PIAFS1.0	32		
J	PIAFS1.0	32	#32	
K	PIAFS2.0	64		
L	PIAFS2.0	64/32		S142=1
M	PIAFS1.0	32	##3	
N	PIAFS2.1	64		

※ 通信方式、通信速度の切替を電話機で行ってください。

2 本製品の設定をします。

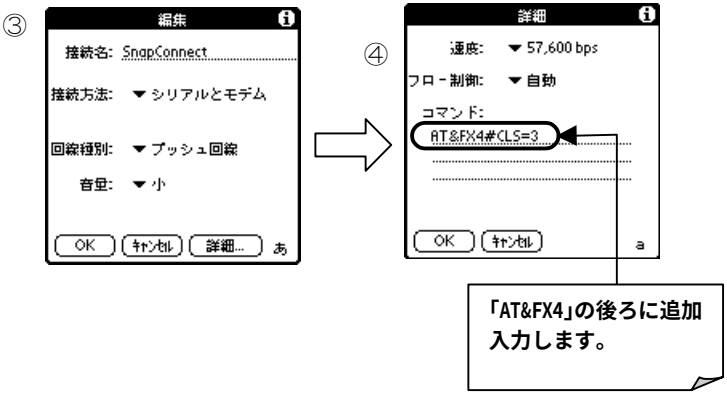
《日本語Palm OS 3.1以前の場合》

①「環境設定」- 右上のメニューから「モデム」を選択します。
②［コマンド］に［AT&FX4］と入力します。



《日本語Palm OS 3.5の場合》

①［環境設定］- 右上のメニューから［接続］を選択します。
②［使用できる設定：］で［新規］ボタンをタップします。
③［接続名］に任意の名称を書き込み、［詳細］ボタンをタップします。
④［コマンド］に［AT&FX4］と入力します。



3 タイプ F, G, H, Lには追加設定が必要です。

手順**2** で［コマンド］に入力した［AT&FX4］の後ろに、下表の「ATコマンド追加設定」を追加入力します。

WorkPad c3 40J/50J, Palm Vx/Ⅲc, Visor Prism/Platinumの場合は、［OK］ボタンをタップします。

タイプ	通信方式	ATコマンド追加設定
F	PIAFS1.0	#CLS=3
G	PIAFS2.0	#CLS=3
H	PIAFS2.0	#CLS=3S142=1
L	PIAFS2.0	S142=1

参考

タイプ F,G,H,L 以外の場合は、手順**3** の作業は必要ありません。
次ページの【インターネット接続の設定】にお進みください。

以上で、本製品の設定は完了です。

インターネット接続の設定

本作業は、【本製品の設定】(21ページ)の作業をしてから、行ってください。

1 環境設定のネットワークを開きます。

環境設定を起動します。その後、右上のメニューから［ネットワーク］を選択します。

2 ネットワークの設定をします。

① ［サービス］には、接続するプロバイダ名などを入力します。

② ［ユーザー名］には、接続するプロバイダの接続アカウント（ログイン名）を入力します。

③ ［パスワード］をタップします。パスワード入力画面が開かれますので、接続するプロバイダのパスワードを入力し、［OK］ボタンをタップします。

④ ［接続］がある場合は、【本製品の設定】の手順**2**(23ページ)で設定［接続名］を選択します。

⑤ ［電話番号］をタップします。
⇒ダイヤルの設定画面が開かれます。

3 ダイヤルの設定をします。

［電話番号］に、プロバイダの電話番号を市外局番から入力します。
ただし、【本製品の設定】(21ページ)のフローチャートでタイプが
B, D, F, J, Mだった場合は、電話番号の末尾に下表の「電話番号追加設定」を追加入力してください。
他の項目は、全てチェックしないでください。
設定が終わりましたら、［OK］ボタンをタップします。
⇒環境設定に戻ります。

タイプ	通信方式	電話番号追加設定
B	PDC	J
D	回線交換	J
F,J	PIAFS1.0	#32
M	PIAFS1.0	##3

参考

入力する電話番号は、ご利用の電話機や通信方式によって異なります。
正しい電話番号については、プロバイダにお問い合わせください。
通信方式については、23ページの表をご覧ください。

4 ［詳細］ボタンをタップします。

⇒詳細画面が開かれます。

以上で、インターネット接続の設定は完了です。

インターネットに接続する

本作業は、【インターネット接続の設定】(25ページ)の作業をしてから、行ってください。

1 環境設定のネットワークを開きます。

環境設定を起動します。その後、右上のメニューから［ネットワーク］を選択します。

2 ［接続］ボタンをタップします。

接続状況ウィンドウが表示され、インターネットに接続されます。

Modem Syncの設定

本製品のHotSyncボタンを使用してボタンを押すだけでModem Syncを行うことができます。Modem Syncを利用する場合は、PDA本体のHotSync画面にてModem Sync先の電話番号を設定しておく必要があります。
設定内容についてはPDA本体の取扱説明書を参照してください。

注 意

ネットワークの設定は、お使いのPDA本体の取扱説明書「環境設定」の「ネットワークの環境設定とTCP/IPソフトウェア」を参照してください。

4. 困ったときには

ここでは、問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐ解決できることです。ぜひ、お試しください。

接続する電話機を変更したら、インターネットに接続できなくなった

原因
変更後の電話機や通信方式に合った追加設定が設定されていない。

対処
ご利用の電話機や通信方式によって、AT コマンドや接続先の電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。【3. ソフトウェアの設定】(21 ページ)を参照して、追加設定が必要かどうかご確認ください。必要な場合は、追加設定を行ってください。

ドッチーモなどの複合機で、PDC（データ）通信モードではインターネットに接続できるが、PHS モードでは接続できない（逆の場合もある）

原因 1
本製品を使用してドッチーモによる通信をする場合、PDC（データ）通信モードと PHS モードは自動的に切り替えることはできない。

対処 1
AT コマンドの入力により切り替える必要があります。【3. ソフトウェアの設定】(21 ページ)を参照して、追加設定を行ってください。

原因 2
PDC（データ）通信と PHS で、プロバイダのアクセスポイント（電話番号）が異なる場合がある。

対処 2
お使いのプロバイダのアクセスポイントがお使いの通信方式で利用できるかどうかをご確認ください。
詳しくは、お使いのプロバイダにお問い合わせください。

PC9664IIIとドッチーモを接続しているが、インターネットに接続できない

原因
日本語 Palm OS 3.5 の場合は、作業が若干異なる。

対処
本製品とドッチーモの接続を、次ページにあるタイミングで行ってください。

●Palm OS 3.5標準の「ネットワーク」機能を使用する場合

※PDCケーブルの接続は、手順**3**の発信を実行直後に行います。

1 Palm、WorkPad機器本体の「環境設定」- 右上のメニューから「ネットワーク」を選択します。

2 「接続」をタップします。

3 「接続」をタップ後、以下の「初期化中」画面が消えた後に速やかに※1PDC用ケーブルをドッチーモの接続コネクタに接続します※2。

※1　約3～10秒以内を目安に接続してください。

※2　以下の「初期化中」画面の表示中は接続しないでください。

●ターミナルソフトを使用する場合

1 ターミナルソフトを起動します。

2 本製品のLEDが緑色に点灯していることを確認後、PDC用ケーブルをドッチーモの接続コネクタに接続します。

3 データ通信を行います。

Palm、WorkPad機器本体の「環境設定」- 右上のメニューから「ネットワーク」を選択して発信を実行します。

付録1 ATコマンド一覧

ご使用の通信ソフトによっては、通信ソフト側で「モデムの初期化コマンド」を新たに設定する必要があります。モデム初期化コマンドは、ご使用の通信ソフトのパラメータ設定画面で入力します。使用する通信ソフトの製品ごとに「モデムの初期化コマンド」の設定方法（以下の[ATコマンド]による設定等）が異なります。詳細は通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。

[ATコマンド]

モデムの設定等を行うコマンドです。

ATコマンドのフォーマットは以下の形式になります。

1. コマンドとパラメータは１行に複数指定できます。
2. LFコードは省略することができます。
3. ご使用のキーボードに[¥]キーがない場合は[＼]を使用してください。

1 ATコマンド（PDC）

（1）《データモードATコマンド》

コマンドの()内は初期値
◎：&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。

コマンド	機能	パラメータ
A/	コマンド再実行(ATは付加しない)	ー
A	手動着信	ー
◎Bn n=(0),1	モデムの規格を選択 （2400bps電話機使用時は無視）	0：ITU-T規格、V.22/V.21 1：BELL規格、212A/103
Dn	ダイヤル発信	省略：電話機より電話番号を入力 0～9,#,*,A,B,C,D：電話番号 [-],[SP],[(],[)]：電話番号の区切りとして使用可能 ;：ダイヤル後、コマンド待ち ,：ダイヤル一時停止（S8レジスタの指定時間ダイヤルを停止） L：直前の電話番号をリダイヤル S=n：AT&Zn で設定した電話番号をダイヤル W：S7レジスタの指定時間、ダイヤルトーンを待つ（ダイヤルトーンを検出できなければON HOOK） P：無視 T：無視 I：パケット対応電話機の場合、パケット通信を行う J：データ通信を行う ATD：(ﾀﾞｲﾔﾙなし)：電話機より電話番号を入力する。
◎En n=0,(1)	コマンドエコー	0：エコーなし 1：エコーあり

コマンド	機能	パラメータ
◎Fn n=(0)	公衆回線接続モード （2400bps電話機使用時は無視）	0：自動モード検出 1：V.21/BELL103 (300bps) 3：V.23ライン変調 送信75bps/受信1200bps) 4：V.22/BELL212A (1200bps) 5：V.22bis (2400bpsライン変調) 6：V.32bis/V.32 (4800bpsライン変調) 7：V.32bis (7200bpsライン変調) 8：V.32bis/V.32 (9600bpsライン変調) 9：V.32bis (12000bpsライン変調) 10：V.32bis (14400bpsライン変調)
Hn n=0,1	Hookスイッチ	0：HOOK ON 1：HOOK OFF
In n=3	製品コード/バージョンの表示	3：バージョン番号
O	オンラインモード切り替え	ー
◎Qn n=(0),1	リザルトコード表示	0：リザルトコードあり 1：リザルトコードなし
Sn=x	nで指定したSレジスタに値xを設定	（n,xはSレジスター覧を参照）
Sn?	nで指定したSレジスタの値を表示	（nはSレジスター覧を参照）
◎Un n=(0),1, 2,3	発着信番号表示の設定 （ATQ0,ATV1,AT¥V0またはAT¥V2の場合に有効）	0：発着信番号表示なし 1：発信番号表示あり、着信番号表示なし 2：発信番号表示なし、着信番号表示あり 3：発着信番号表示あり
◎Vn n=0,(1)	リザルトコードの表示形式	0：数字形式 1：文字形式
◎Wn n=(0),1, 2,3	接続時のリザルトコード表示内容	(回線速度),(プロトコル表示),(シリアル速度表示)　　****は速度表示 n=0:(-),(-),(CONNECT ****) n=1:(CARRIER ****),(PROTOCOL:ALT), (CONNECT ****) n=2:(CONNECT ****),(-),(-) n=3:(-),(-),(CONNECT ****/REL)

コマンド	機能	パラメータ
◎Xn n=0,1,2, (3),4	ダイヤルトーン・ビジートーン検出及び速度表示 （ダイヤルトーンを5秒以内に検出できない場合、「NO DIALTONE」を表示しダイヤルしない）	0：トーン検出、速度表示なし 1：速度表示あり 2：ダイヤルトーン検出、速度表示あり 3：ビジートーン検出、速度表示あり 4：トーン検出、速度表示あり
Zn n=0,1,2, 3,4,5,6	アダプタのリセット （通信中の場合、呼の切断も行う。複数コマンドをまとめて入力した場合、Zコマンド以降のコマンドは無視される）	0：&Wの保存値で初期化 1：MNP4　AT¥N5¥Q3%C0)M0-Q0¥X1 設定 2：MNP5　AT¥N5¥Q3%C1)M0-Q0¥X1 設定 3：MNP10　AT¥N3¥Q3%C3)M1-Q1¥X0 設定 4：V.42　AT¥N4¥Q3%C0)M0-Q0¥X1 設定 5：V.42bis　AT¥N4¥Q3%C2)M0-Q0¥X1 設定 6：ノーマルモード AT¥N0¥Q3%C0)M0-Q0¥X1 設定
◎&Cn n=0,(1)	CD信号出力設定	0：常時ON 1：データリンク中ON
◎&Dn n=0,1, (2),3	ER信号制御	0：無視 1：OFFでエスケープモード 2：OFFで回線を切断 3：OFFでリセット
&F	初期化	ー
◎&Kn n=0,(3), 4,	フロー制御	0：フロー制御なし 3：RS/CSフロー制御 4：XON/XOFFフロー制御
&P	接続電話機番号表示	
◎&Sn n=(0),1, 2	DR信号出力設定	0：常時ON 1：ハンドシェーク開始時ON、回線断でOFF 2：ハンドシェーク終了時ON、回線断でOFF
&V	現在の設定値とメモリに保存されている値を表示	
&W	現在の設定値を不揮発メモリに保存	ー
◎&Zn=x n=0～19, 99	最大35桁の電話番号xをメモリに保存	0～19：指定メモリに電話番号xを登録、 x省略時電話番号を消去 99：全メモリの電話番号を一括消去
◎¥An n=0,1,2, (3)	最大MNPブロックサイズ設定 （2400bps電話機使用時、n=3）	0：64バイト 1：128バイト 2：192バイト 3：256バイト

コマンド	機能	パラメータ
¥Bn n=0,1,2, (3),4～9	ノーマルモード時ブレーク信号送出 （MNPモード時LNフレーム送出）	1～9：ブレーク信号長100～900ms
◎¥Cn n=0,1, (2)	オートリライアブルバッファ機能 （2400bps電話機使用時は無視）	0：なし 1：あり 2：なし、フォールバックキャラクタ機能あり
◎¥Gn n=(0),1	モデム間XON/XOFFフロー制御 （2400bps電話機使用時は無視）	0：なし 1：あり
◎¥Kn n=0,1,2, 3,4,(5)	ブレーク信号受信時の動作 （n=0,2,4を選択した場合、それぞれn=1,3,5を設定する）	0,1：バッファクリア後、端末装置にブレーク信号送出 2,3：端末装置にブレーク信号送出 4,5：バッファデータ送出後、端末装置にブレーク信号送出
◎¥Nn n=0,2, (3),4,5	動作モード （2400bps電話機使用時、n=5）	0：ノーマルモード 2：リライアブルモード 3：オートリライアブルモード 4：LAPMエラー訂正モード 5：MNP4エラー訂正モード
◎¥Qn n=0,1, (3)	端末装置と本装置間のフロー制御	0：フロー制御なし 1：XON/XOFFフロー制御 3：RS/CSフロー制御
¥S	設定値の表示	―
◎¥Tn n=(0), 1～60	無通信監視タイマ値設定	0：監視なし 1～60：監視時間1～60分
◎¥Xn n=(0),1	オートリライアブルモード時の設定 （2400bps電話機使用時、n=1）	0：MNP10を使用する 1：MNP10を使用しない
◎%An n=(0), 1～127	フォールバックキャラクタ設定 （2400bps電話機使用時は無視）	0：設定しない 1～127：10進ASCIIコードを設定

コマンド	機能	パラメータ
◎%Cn n=0,1,2, (3)	データ圧縮機能 （2400bps電話機使用時、 n=0）	0：圧縮なし 1：MNP5 2：V.42bis 3：V.42bis及びMNP5
◎%En n=0,1, (2),3	回線モニタリング、リトレーニング （2400bps電話機使用時は無視）	0：なし 1：あり 2：あり、フォールバック／フォールフォワードなし 3：あり、フォールバック／フォールフォワードあり
◎#Cn n=(0),1	通信終了時の通信料金表示	0：表示なし 1：表示あり
◎#CLS=n n=0,1, (2),3	PDC/PHS選択	0：データ通信モード 1：0の場合と同じ 2：パケット通信モード 3：PHS通信モード(PDC I/Fを使用するPHS対応電話機)
◎#Dn n=0,(1)	電話番号通知	0：通知しない 1：通知する
◎#In n=(0),1	相手（発信・着信）番号を表示	0：表示しない 1：表示あり なし:直前の通信相手の電話番号を表示
◎#Nn n=(0) 1,2,3	自動着信時、着信拒否	0：着信拒否しない 1：着信拒否する 2：着信許可番号ならば着信する 着信許可番号以外または、通信相手からの電話番号の通知がない場合、着信拒否 3：着信許可番号ならば着信する 着信許可番号以外または、通信相手からの電話番号の通知がない場合、着信拒否しない
#SBn	#Dに同じ	#Dに同じ
◎#Tn=x n=0～19	着信許可番号 （最大20件） （[-],[SP],[(],[)]を除いた着信許可番号保存）	n=0～19：nで指定したパラメータに着信許可番号Xを保存する 「x」を省略した場合、nで指定したパラメータの内容を消去する n=99　：保存されている着信許可番号を一括消去する

コマンド	機能	パラメータ
◎-Qn n=0,(1)	V.22/V.22bisへのフォールバック （2400bps電話機使用時, n=0）	0：使用しない 1：使用する
◎*Hn n=(0),1, 2	MNP10リングネゴシエーション速度（2400bps電話機使用時は無視）	0：最高速 1：1200bps 2：4800bps
◎)Mn n=0,(1)	MNP10リングネゴシエーション調整 （2400bps電話機使用時、 n=0）	0：パワー調整を行わない 1：パワー調整を行う
◎:En n=0,(1)	MNP10固定等価器の有無 （2400bps電話機使用時は無視）	0：固定等価器を使用しない 1：固定等価器を使用する
+MNP=n n=(0),1	データ通信モード （高速データ通信対応電話機使用時にn=1を指定すると、MNP4 2400bps通信モードとして動作）	0：自動選択 1：MNP2400通信モード

（2）《Sレジスタ》

◎S0	着信モード設定	(0)：手動着信 1～15：RING1～15回で自動着信
◎S2	エスケープシーケンスの文字コード	0～127（43：'+'）
S3	キャリッジリターンの文字コード	0～127（13：CR）
S4	ラインフィードの文字コード	0～127（10：LF）
S5	バックスペースの文字コード	0～32（8：BS）
◎S7	ダイヤル終了後、キャリア検出までの待ち時間	1～57（50）単位：秒
◎S8	Dコマンドにおける「,」の一時停止時間	0～255（2）単位：秒
◎S12	エスケープ・コード入力の前後に必要な遅延時間	0～255（50）単位：1/50秒
S23	ビットマップレジスタ（Read Only）	0～255(27) Bit2,1,0=000:DTEスピード　300bps 010:DTEスピード　1200bps 011:DTEスピード　2400bps 100:DTEスピード　4800bps 101:DTEスピード　9600bps 110:DTEスピード 19200bps 111:Bit5,6,7を有効にする Bit4,3=00:偶数パリティ 10:奇数パリティ 11:ノンパリティ Bit7,6,5=000:DTEスピード　7200bps 001:DTEスピード 12000bps 010:DTEスピード 14400bps 011:DTEスピード 38400bps 100:DTEスピード 57600bps 101:DTEスピード115200bps
◎S25	ER信号OFF検出時間	0～255（5）単位：10ミリ秒
S32	XONキャラクタコード	0～255（17）
S33	XOFFキャラクタコード	0～255（19）

◎S37	ライン接続スピード	(0)：自動応答 1：300bps 5：1200bps 6：2400bps 7：75bps(Send)/1200bps(Receive) 8：4800bps 9：9600bps 10：12000bps 11：14400bps 12：7200bps
◎S38	強制切断指示時のデータ保証時間	0～255（20）単位：秒
◎S46	データ圧縮制御	136：圧縮しない (138)：圧縮する
◎S48	V.42ネゴシエーション制御	0：LAPM制御 (7)：ネゴシエーションを行う 128：MNP接続
◎S51	回線切断	(0):回線切断 1～254:1～254秒後に音声モードへ移行 255:回線切断
S86	接続失敗時の原因コード（Read Only）	(0)：正常切断 1：FAXハンドシェーク失敗 2：MNPハンドシェーク失敗 9：プロトコル設定失敗 12：相手からの正常切断 13：応答なし 14：プロトコルエラー 17：無通信監視タイムオーバー

◎S93	DTE速度初期値設定 （10進数で値を設定する） 0～15：(偶数パリティ) 100～115：(奇数パリティ) 200～215：(パリティなし)	設定値=(パリティ指定番号×100)＋DTE速度指定番号 （初期値=213） 0：初期値なし 1：Reserved 2：Reserved 3：Reserved 4：Reserved 5：1200 6：2400 7：4800 8：7200 9：9600 10：14400 11：19200 12：28800 13：38400 14：57600 15：115200 パリティ 0：偶数パリティ 1：奇数パリティ 2：パリティなし
◎S111	スタンバイモードへの移行時間指定	(0)：低消費電力モードには移行しない 1～255：時間（単位：秒）

注）・ ◎付きレジスタは&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。
・ S23, S86, S88レジスタは読み取り専用です。
・ S12レジスタの値を0にするとエスケープモードへは移行できません。
・ 範囲外の値が入力された場合は正しく設定されない場合があります。
・ 未サポートレジスタが指定された場合の値は設定されません。
未サポートレジスタには値を入力しないでください。

（3）《リザルトコード》

OK	0	ATコマンドを実行した
CONNECT	1	接続された
RING	2	リング音を検出した
NO CARRIER	3	キャリアが検出できない、キャリアが消滅した
ERROR	4	ATコマンドに誤りがある。低電圧検知で発信しようとした。
CONNECT 1200	5	1200bpsで接続された
NO DIALTONE	6	ダイヤルトーンが検出できない
BUSY	7	話中音を検出した
CONNECT 2400	10	2400bpsで接続された
CONNECT 4800	11	4800bpsで接続された
CONNECT 7200	12	7200bpsで接続された
CONNECT 9600	13	9600bpsで接続された
CONNECT 12000	14	12000bpsで接続された
CONNECT 14400	15	14400bpsで接続された
CONNECT 19200	16	19200bpsで接続された
CONNECT 38400	17	38400bpsで接続された
CONNECT 57600	18	57600bpsで接続された
CONNECT 115200	19	115200bpsで接続された
CONNECT 1200/REL	22	1200bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 2400/REL	23	2400bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 4800/REL	24	4800bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 7200/REL	25	7200bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 9600/REL	26	9600bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 12000/REL	27	12000bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 14400/REL	28	14400bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 19200/REL	29	19200bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 38400/REL	30	38400bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 57600/REL	31	57600bpsで接続された（エラー訂正あり）
CONNECT 115200/REL	32	115200bpsで接続された（エラー訂正あり）
CARRIER 300	40	回線速度300bps（V.21/BELL 103）
CARRIER 1200	42	回線速度1200bps（V.22/BELL 212）
CARRIER 2400	43	回線速度2400bps（V.22bis）
CARRIER 4800	44	回線速度4800bps（V.32）
CARRIER 7200	45	回線速度7200bps（V.32bis）
CARRIER 9600	46	回線速度9600bps（V.32/V.32bis）
CARRIER 12000	47	回線速度12000bps（V.32bis）
CARRIER 14400	48	回線速度14400bps（V.32bis）

COMPRESSION:CLASS5	66	MNPクラス5 データ圧縮を使用する
COMPRESSION:V.42BIS	67	V.42bisデータ圧縮を使用する
COMPRESSION:NONE	69	データ圧縮しない
PROTOCOL:NONE	76	非同期モードで動作する
PROTOCOL:LAPM	77	V.42LAPMで動作する
PROTOCOL:ALT	80	V.42ANNEX MNPクラス4以下で動作する
TEL NO:xxxx	90	通信相手の電話番号を表示する
BREAKDOWN	91	無線装置が故障している
TEL NO:NONE	94	通信相手から電話番号の通知がない
REDIAL ERROR	96	リダイヤル規制

2 ATコマンド（PHS）

（1）《データモードATコマンド》

コマンドの()内は初期値
◎：&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。

コマンド	機能	パラメータ
A/	コマンド再実行(ATは付加しない)	ー
A	手動着信	ー
Dn	ダイヤル発信	省略：電話機より電話番号を入力 0～9,#,＊：電話番号 [-],[SP],[(],[)]:電話番号の区切りとして使用可能 ;：無視 ,：無視 L：直前の電話番号をリダイヤル S=n：AT&Zn で設定した電話番号をダイヤル W：無視 P：PTE接続 #32：電話番号の後ろに追加して32Kデータ通信を行う #64：電話番号の後ろに追加して64Kデータ通信を行う T：無視 ATD:（ダイヤルなし）電話機より電話番号入力 サブアドレス区切り文字：[/],[¥],[*],[#]からS103レジスタに設定した文字 PTE番号区切り文字：[*]
◎En n=0,(1)	コマンドエコー	0：エコーなし 1：エコーあり
Hn n=0,1	HOOKスイッチ	0：HOOK ON 1：HOOK OFF
In n=1,2, 3,4	製品コード/バージョンの表示	1：PHS 2：I-O DATA DEVICE,INC. 3：バージョン番号 4：SnapConnect
O	オンラインモード切り替え	ー
◎Qn n=(0),1	リザルトコード表示	0：リザルトコードあり 1：リザルトコードなし

コマンド	機能	パラメータ
Sn=x	nで指定したSレジスタに値xを設定	（n, xはSレジスター覧を参照）
Sn?	nで指定したSレジスタの値を表示	（nはSレジスター覧を参照）
◎Un n=(0), 1, 2, 3	発着信番号表示の設定 （ATQ0, ATV1, AT¥V0またはAT¥V2の場合に有効）	0：発着信番号表示なし 1：発信番号表示あり、着信番号表示なし 2：発信番号表示なし、着信番号表示あり 3：発着信番号表示あり
◎Vn n=0, (1)	リザルトコードの表示形式	0：数字形式 1：文字形式
Zn n=(0)	アダプタのリセット （通信中の場合、呼の切断も行う）	0：&Wの保存値で初期化
◎&Cn n=0, (1)	CD信号出力設定	0：常時ON 1：データリンク中ON
◎&Dn n=0, 1, (2), 3	ER信号制御	0：無視 1：OFFでエスケープモード 2：OFFで回線を切断 3：OFFでリセット
◎&En n=(0), 1	速度表示の選択	0：無線区間の回線速度を表示する 1：DTEシリアル速度を表示する
&F	初期化	ー
◎&Kn n=0, (3), 4,	フロー制御	0：フロー制御なし 3：RS/CSフロー制御 4：XON/XOFFフロー制御
◎&Sn n=(0), 1, 2	DR信号出力設定	0：常時ON 1：ハンドシェーク開始時ON、回線断でOFF 2：ハンドシェーク終了時ON、回線断でOFF
&V	現在の設定値とメモリに保存されている値を表示	
&W	現在の設定値を不揮発メモリに保存	ー
◎&Zn=x n=0～19, 99	最大35桁の電話番号xをメモリに保存	0～19：指定メモリに電話番号xを登録、 x省略時電話番号を消去 99：全メモリの電話番号を一括消去

コマンド	機能	パラメータ
◎¥Kn n=0, 1, 2, 3, 4, (5)	ブレーク信号受信時の動作	0, 1：バッファクリア後、端末装置にブレーク信号送出 2, 3：端末装置にブレーク信号送出 4, 5：バッファデータ送出後、端末装置にブレーク信号送出
◎¥Qn n=0, 1, (3)	端末装置と本装置間のフロー制御	0：フロー制御なし 1：XON/XOFFフロー制御 3：RS/CSフロー制御
¥S	設定値の表示	ー
◎¥Tn n=(0), 1～60	無通信監視タイマ値設定	0：監視なし 1～60：監視時間1～60分
◎¥Vn n=0, (1), 2	PHSリザルトコード(下記)表示（Q0設定時のみ有効） 「PS LOW BATTERY」 「ADP LOW BATTERY」 「NOT READY」 「OUT OF SERVICE」 「IN SERVICE」 「PS NO RESPONCE」 「RESTRICTION」	0：「IN SERVICE」以外を表示 1：表示しない 2：表示する
◎¥Wn n=(0), 1	速度表示の表示する／しないの選択	0：回線速度またはDTEシリアル速度を表示しない 1：回線速度またはDTEシリアル速度を表示する
◎¥Zn n=(0), 1	接続時アダプタ間プロトコル表示	0：表示しない 1：表示する
◎%Cn n=(0), 1, 2, 3	データ圧縮機能	0：圧縮なし 1～3：V.42bis
◎#CLS=n n=0, 1, (2), 3	PDC/PHS選択	0：データ通信モード 1：0の場合と同じ 2：パケット通信モード 3：PHS通信モード(PDC I/Fを使用するPHS対応電話機)
◎#Dn n=0, (1)	電話番号通知	0：通知しない 1：通知する

コマンド	機能	パラメータ
◎#In n=(0),1	相手（発信・着信）番号を表示	0：表示しない 1：表示あり なし:直前の通信相手の電話番号を表示
◎#M=n n=(0)	PHSアダプタ間のプロトコル設定	0：PIAFS
#M?	設定されているアダプタ間プロトコルの表示	
◎#Nn n=(0) 1,2,3	自動着信時、着信拒否	0：着信拒否しない 1：着信拒否する 2：着信許可番号ならば着信する 着信許可番号以外または、通信相手からの電話番号の通知がない場合、着信拒否 3：着信許可番号ならば着信する 着信許可番号以外または、通信相手からの電話番号の通知がない場合、着信拒否しない
◎#PM=n n=(0)～3	ATDPコマンド発信する場合のPTE電話番号を指定	0～3：#PNで登録したPTE番号を指定
◎#PNn=x n=0～3,99	PTE電話番号の登録	0～3：指定PTE番号に電話番号xを登録、 x省略時電話番号を消去 99：全PTE番号の電話番号を一括消去
◎#SBn	#Dに同じ	#Dに同じ
◎#Tn=x n=0～19	着信許可番号 （最大20件）	n=0～19：nで指定したパラメータに着信許可番号Xを保存する 「x」を省略した場合、nで指定したパラメータの内容を消去する n=99　：保存されている着信許可番号を一括消去する

（2）《Sレジスタ》

◎S0	着信モード設定	(0)：手動着信 1～15：RING1～15回で自動着信
◎S2	エスケープシーケンスの文字コード	0～127（43：'+'）
S3	キャリッジリターンの文字コード	0～127（13：CR）
S4	ラインフィードの文字コード	0～127（10：LF）
S5	バックスペースの文字コード	0～32（8：BS）
◎S7	ダイヤル終了後、キャリア検出までの待ち時間	1～57（50）単位：秒
◎S12	エスケープコード入力の前後に必要な遅延時間	0～255（50）単位：1/50秒 ※0にすると、エスケープモードへは移行できません
S23	ビットマップレジスタ（Read Only）	0～255(27) Bit2,1,0=000:DTEスピード　300bps 010:DTEスピード　1200bps 011:DTEスピード　2400bps 100:DTEスピード　4800bps 101:DTEスピード　9600bps 110:DTEスピード 19200bps 111:Bit5,6,7を有効にする Bit4,3=00:偶数パリティ 10:奇数パリティ 11:ノンパリティ Bit7,6,5=000:DTEスピード　7200bps 001:DTEスピード 12000bps 010:DTEスピード 14400bps 011:DTEスピード 38400bps 100:DTEスピード 57600bps 101:DTEスピード115200bps
◎S25	ER信号OFF検出時間	0～255（5）単位：10ミリ秒
S32	XONキャラクタコード	0～255（17）
S33	XOFFキャラクタコード	0～255（19）

S86	接続失敗時の原因コード （Read Only）	(0)：切断理由なし 1：欠番 16：正常切断 17：着ユーザービジー 18：着ユーザーレスポンスなし 19：相手ユーザー呼び出し中 20：相手ユーザー圏外 21：通信拒否 22：加入者番号変更 27：相手端末故障 28：無効番号フォーマット 34：利用可回線／チャネルなし 38：網障害 41：一時故障 42：交換機輻輳 44：要求回線／チャネル使用不可 88：端末属性不一致
S88	接続失敗時の原因コード （ReadOnly）	(0)：通常の回線切断 1：発着信衝突 2：システム指定なし 3：番号情報不足 4：手動発信タイムアウト 5：自動発信タイムアウト 6：PHS圏外 10：S7レジスタ値タイムアウト 15：その他 50：発信要求拒否 52：PHSシステム不一致 53：PHS故障 54：PHS応答なし 55：PHS使用中 60：装置本体間誤り訂正不一致 61：PIAFS異常終了 71：ER断 72：発信中のキー入力による切断 73：PHSリスタート

S93	DTE速度初期値設定 （10進数で値を設定する）	設定値=(パリティ指定番号×100)＋DTE速度指定番号 0：初期値なし 1～4：Reserved
	0～15：(偶数パリティ) 100～115：(奇数パリティ) 200～215：(パリティなし)	5：1200 6：2400 7：4800 8：7200 9：9600 10：14400 11：19200 12：28800 13：38400 14：57600 15：115200 パリティ 0：偶数パリティ 1：奇数パリティ 2：パリティなし
◎S103	サブアドレスの区切り	0：スラッシュ″/″ 1：バックスラッシュ″＼″またはエンマーク″¥″ (2)：アスタリスク″*″ 3：シャープ″#″
◎S110	PTE接続指定	(0)：ATD,ATDT指定によるダイヤル発信はPTE接続しない 1：ATD,ATDT指定によるダイヤル発信はPTE接続する ただし、ATDPによるダイヤル発信時は本レジスタの値に関わらずPTE接続する
◎S111	スタンバイモードへの移行時間指定	(0)：低消費電力モードには移行しない 1～255：時間（単位：秒）
◎S141	データ転送プロトコル情報	0：PIAFS 32Kbits/S (10)：PIAFS 64Kbits/S
◎S142 （注2）	64Kbits/Sから32bits/Sへのフォールバック	(0)：フォールバックしない 1：フォールバックする

注1）・◎付きレジスタは&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。
・S23,S86,S88レジスタは読み取り専用です。
・範囲外の値が入力された場合は正しく設定されない場合があります。
・未サポートレジスタが指定された場合の値は設定されません。
未サポートレジスタには値を入力しないでください。

注2）・αDATA32、αDATA64では、未サポート

（3）《リザルトコード》

OK	0	ATコマンドを実行した
CONNECT	1	接続された
RING	2	リング音を検出した
NO CARRIER	3	キャリアが検出できない、キャリアが消滅した
ERROR	4	ATコマンドに誤りがある。低電圧検知で発信しようとした。
CONNECT 1200	5	1200bpsで接続された
NO DIALTONE	6	ダイヤルトーンが検出できない
BUSY	7	話中音を検出した
NO ANSWER	8	相手応答なし
CONNECT 2400	10	2400bpsで接続された
CONNECT 4800	11	4800bpsで接続された
CONNECT 7200	12	7200bpsで接続された
CONNECT 9600	13	9600bpsで接続された
CONNECT 12000	14	12000bpsで接続された
CONNECT 14400	15	14400bpsで接続された
CONNECT 19200	16	19200bpsで接続された
CONNECT 38400	17	38400bpsで接続された
CONNECT 57600	18	57600bpsで接続された
CONNECT 115200	19	115200bpsで接続された
COMPRESSION:V.42BIS	67	V.42bisデータ圧縮を使用する
COMPRESSION:NONE	69	データ圧縮しない
PROTOCOL:PIAFS	82	PIAFSで接続した
TEL NO:xxxx	90	通信相手の電話番号を表示する
BREAKDOWN	91	無線装置が故障している
OUTSIDE	92	圏外である
TEL NO:NONE	94	通信相手から電話番号の通知がない
REDIAL ERROR	96	リダイヤル規制
RESTRICTED DIAL	97	電話網からの発信規制
PS LOW BATTERY	101	PSバッテリー警告
ADP LOW BATTERY	102	装置本体バッテリー警告
NOT READY	103	リダイヤル規制時間内表示
OUT OF SERVICE	104	圏外
IN SERVICE	105	圏内
PS NO RESPONCE	106	PS応答なし
CONNECT 32000	121	回線速度32000bpsで接続された
CONNECT 64000	122	回線速度64000bpsで接続された

3 ATコマンド（ｃｄｍａＯｎｅ）

（１）《データモードATコマンド》

コマンドの()内は初期値
◎：&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。

コマンド	機能	パラメータ
A/	コマンド再実行(ATは付加しない)	ー
A	手動着信	ー
Dn	ダイヤル発信	省略：電話機より電話番号を入力 0～9,#,*,A,B,C,D：電話番号 [-],[SP],[(],[)]：電話番号の区切りとして使用可能 ,：無視 L：直前の電話番号をリダイヤル W：無視 P：無視 T：無視 I：パケット対応電話機の場合、パケット通信を行う J：データ通信を行う
◎En n=0,(1)	コマンドエコー	0：エコーなし 1：エコーあり
Hn n=0,1	Hookスイッチ	0：HOOK ON 1：HOOK OFF
In n=3	製品コード/バージョンの表示	3：バージョン番号
O	オンラインモード切り替え	ー
◎Qn n=(0),1	リザルトコード表示	0：リザルトコードあり 1：リザルトコードなし
Sn=x	nで指定したSレジスタに値xを設定	（n,xはSレジスター覧を参照）
Sn?	nで指定したSレジスタの値を表示	（nはSレジスター覧を参照）
◎Vn n=0,(1)	リザルトコードの表示形式	0：数字形式 1：文字形式

コマンド	機能	パラメータ
Zn n=0	アダプタのリセット （通信中の場合、呼の切断も行う。複数コマンドをまとめて入力した場合、Zコマンド以降のコマンドは無視される）	0：&Wの保存値で初期化
◎&Cn n=0,(1)	CD信号出力設定	0：常時ON 1：データリンク中ON
◎&Dn n=0,1, (2),3	ER信号制御	0：無視 1：OFFでエスケープモード 2：OFFで回線を切断 3：OFFでリセット
&F	初期化	ー
◎&Kn n=0,(3), 4,	フロー制御	0：フロー制御なし 3：RS/CSフロー制御 4：XON/XOFFフロー制御
◎&Sn n=(0),1, 2	DR信号出力設定	0：常時ON 1：ハンドシェーク開始時ON、回線断でOFF 2：ハンドシェーク終了時ON、回線断でOFF
&V	現在の設定値とメモリに保存されている値を表示	
&W	現在の設定値を不揮発メモリに保存	ー
◎¥Qn n=0,1, (3)	端末装置と本装置間のフロー制御	0：フロー制御なし 1：XON/XOFFフロー制御 3：RS/CSフロー制御
¥S	設定値の表示	ー
◎#CLS=n n=0,1,2	ASYNC//パケット選択	0：ASYNC通信モード 1：0の場合と同じ 2：パケット通信モード

（2）《Sレジスタ》

◎S0	着信モード設定	(0)：手動着信 1～15：RING1～15回で自動着信
◎S2	エスケープシーケンスの文字コード	0～127（43：'+'）
S3	キャリッジリターンの文字コード	0～127（13：CR）
S4	ラインフィードの文字コード	0～127（10：LF）
S5	バックスペースの文字コード	0～32（8：BS）
◎S7	ダイヤル終了後、キャリア検出までの待ち時間	1～57（50）単位：秒
◎S8	Dコマンドにおける「,」の一時停止時間	0～255（2）単位：秒
◎S12	エスケープ・コード入力の前後に必要な遅延時間	0～255（50）単位：1/50秒
S23	ビットマップレジスタ（Read Only）	0～255(27) Bit2,1,0=000:DTEスピード　300bps 010:DTEスピード　1200bps 011:DTEスピード　2400bps 100:DTEスピード　4800bps 101:DTEスピード　9600bps 110:DTEスピード 19200bps 111:Bit5,6,7を有効にする Bit4,3=00:偶数パリティ 10:奇数パリティ 11:ノンパリティ Bit7,6,5=000:DTEスピード　7200bps 001:DTEスピード 12000bps 010:DTEスピード 14400bps 011:DTEスピード 38400bps 100:DTEスピード 57600bps 101:DTEスピード115200bps
◎S25	ER信号OFF検出時間	0～255（5）単位：10ミリ秒
S32	XONキャラクタコード	0～255（17）
S33	XOFFキャラクタコード	0～255（19）

S86	接続失敗時の原因コード （Read Only）	(0)：自局からの切断 1：相手局からの切断 2：発呼中(ASYNC/パケット)または着信中(ASYNC)の切断
S88	接続失敗時の原因コード （Read Only）	200～：ASYNC自局からの切断 210～：パケット自局からの切断 250～：相手局からの切断 1～：ASYNC発呼中の切断 20～：ASYNC着信中の切断 100～：パケット発呼中の切断
◎S93	DTE速度初期値設定 （10進数で値を設定する） 0～15：(偶数パリティ) 100～115：(奇数パリティ) 200～215：(パリティなし)	設定値=(パリティ指定番号×100)＋DTE速度指定番号 （初期値=213） 0：初期値なし 1：Reserved 2：Reserved 3：Reserved 4：Reserved 5：1200 6：2400 7：4800 8：7200 9：9600 10：14400 11：19200 12：28800 13：38400 14：57600 15：115200 パリティ 0：偶数パリティ 1：奇数パリティ 2：パリティなし

注）・ ◎付きレジスタは&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。
・ S23, S86, S88レジスタは読み取り専用です。
・ S12レジスタの値を0にするとエスケープモードへは移行できません。
・ 範囲外の値が入力された場合は正しく設定されない場合があります。
・ 未サポートレジスタが指定された場合の値は設定されません。
未サポートレジスタには値を入力しないでください。

（3）《リザルトコード》

OK	0	ATコマンドを実行した
CONNECT	1	接続された
RING	2	リング音を検出した
NO CARRIER	3	キャリアが検出できない、キャリアが消滅した
ERROR	4	ATコマンドに誤りがある。低電圧検知で発信しようとした。
CONNECT 1200	5	1200bpsで接続された
NO DIALTONE	6	ダイヤルトーンが検出できない
BUSY	7	話中音を検出した
CONNECT 2400	10	2400bpsで接続された
CONNECT 4800	11	4800bpsで接続された
CONNECT 7200	12	7200bpsで接続された
CONNECT 9600	13	9600bpsで接続された
CONNECT 12000	14	12000bpsで接続された
CONNECT 14400	15	14400bpsで接続された
CONNECT 19200	16	19200bpsで接続された
CONNECT 38400	17	38400bpsで接続された
CONNECT 57600	18	57600bpsで接続された
CONNECT 115200	19	115200bpsで接続された

4 ATコマンド（feelH″,H″）

（1）《データモードATコマンド》

コマンドの()内は初期値
◎：&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。

コマンド	機能	パラメータ
A/	コマンド再実行(ATは付加しない)	ー
A	手動着信	ー
Dn	ダイヤル発信	省略：電話機より電話番号を入力 0～9,#,*,A,B,C,D：電話番号 [-],[SP],[(],[)]：電話番号の区切りとして使用可能 ;：無視 ,：無視 L：直前の電話番号をリダイヤル S=n：AT&Zn で設定した電話番号をダイヤル W：無視 P：PTE接続 ##3：電話番号の後ろに追加して32Kデータ通信を行う ##4：電話番号の後ろに追加して64Kデータ通信を行う #32：電話番号の後ろに追加して32Kデータ通信を行う #64：電話番号の後ろに追加して64Kデータ通信を行う T：無視 [/],[¥],[*],[#]：サブアドレスの区切り [*]：PTE番号の区切り
◎En n=0,(1)	コマンドエコー	0：エコーなし 1：エコーあり
Hn n=0,1	Hookスイッチ	0：HOOK ON 1：HOOK OFF
In n=1,2,3,4	製品コード/バージョンの表示	1：PHS 2：I-O DATA DEVICE,INC 3：バージョン番号 4：SnapConnect
O	オンラインモード切り替え	ー

コマンド	機能	パラメータ
◎Qn n=(0),1	リザルトコード表示	0：リザルトコードあり 1：リザルトコードなし
Sn=x	nで指定したSレジスタに値xを設定	（n, xはSレジスター覧を参照）
Sn?	nで指定したSレジスタの値を表示	（nはSレジスター覧を参照）
◎Un n=(0),1, 2,3	発着信番号表示の設定 （ATQ0,ATV1,AT¥V0またはAT¥V2の場合に有効）	0：発着信番号表示なし 1：発信番号表示あり、着信番号表示なし 2：発信番号表示なし、着信番号表示あり 3：発着信番号表示あり なし：直前の通信相手の電話番号を表示
◎Vn n=0,(1)	リザルトコードの表示形式	0：数字形式 1：文字形式
Zn n=0	アダプタのリセット （通信中の場合、呼の切断も行う。複数コマンドをまとめて入力した場合、Zコマンド以降のコマンドは無視される）	
◎&Cn n=0,(1)	CD信号出力設定	0：常時ON 1：データリンク中ON
◎&Dn n=0,1, (2),3	ER信号制御	0：無視 1：OFFでエスケープモード 2：OFFで回線を切断 3：OFFでリセット
◎&En n=0,1	表示速度設定	0：無線区間の回線速度を表示 1：DTEシリアル速度を表示
&F	初期化	ー
◎&Kn n=0,(3), 4,	フロー制御	0：フロー制御なし 3：RS/CSフロー制御 4：XON/XOFFフロー制御
◎&Sn n=(0),1, 2	DR信号出力設定	0：常時ON 1：ハンドシェーク開始時ON、回線断でOFF 2：ハンドシェーク終了時ON、回線断でOFF
&V	現在の設定値とメモリに保存されている値を表示	
&W	現在の設定値を不揮発メモリに保存	ー

コマンド	機能	パラメータ
◎&Zn=x n=0～19, 99	最大35桁の電話番号xをメモリに保存	0～19：指定メモリに電話番号xを登録、 x省略時電話番号を消去 99：全メモリの電話番号を一括消去
◎¥Kn n=0, 1, 2, 3, 4, (5)	ブレーク信号受信時の動作（n=0, 2, 4を選択した場合、それぞれn=1, 3, 5を設定する）	0, 1：バッファクリア後、端末装置にブレーク信号送出 2, 3：端末装置にブレーク信号送出 4, 5：バッファデータ送出後、端末装置にブレーク信号送出
◎¥Qn n=0, 1, (3)	端末装置と本装置間のフロー制御	0：フロー制御なし 1：XON/XOFFフロー制御 3：RS/CSフロー制御
¥S	設定値の表示	ー
◎¥Tn n=(0), 1～60	無通信監視タイマ値設定	0：監視なし 1～60：監視時間1～60分
◎¥Wn n=(0), 1	回線速度/DTEシリアル速度の表示	0：表示しない 1：表示する
◎¥Zn n=(0), 1	CONNECT時、アダプタ間接続(圧縮)プロトコルの表示	0：表示しない 1：表示する
◎%Cn n=0, 1, 2, (3)	データ圧縮機能（2400bps電話機使用時、n=0）	0：圧縮なし 1：MNP5 2：V.42bis 3：V.42bis及びMNP5
◎#Dn n=0, (1)	電話番号通知	0：通知しない 1：通知する
◎#In n=(0), 1	相手（発信・着信）番号を表示	0：表示しない 1：表示あり なし:直前の通信相手の電話番号を表示

#M=n
n=(0)
	アダプタ間プロトコル設定(PIAFS)	0：PIAFS

◎#M?	設定されているアダプタ間プロトコルの表示	
◎#Nn n=(0) 1, 2, 3	自動着信時、着信拒否	0：着信拒否しない 1：着信拒否する 2：着信許可番号ならば着信する 着信許可番号以外または、通信相手からの電話番号の通知がない場合、着信拒否 3：n=0と同じ

コマンド	機能	パラメータ
◎#PM=n n=(0), 1, 2, 3	PTE電話番号の指定	n=0～3：ATDPコマンドでPTE発信する場合のPTE電話番号の指定
◎#PNn=x n=0, 1, 2, 3, 99	PTE電話番号xの登録	n=0～3:PTE電話番号xの登録（xを省略した場合、nで指定した電話番号は削除） n=99：登録したPTE電話番号を一括削除（xは省略）
#SBn	#Dに同じ	#Dに同じ
◎#Tn=x n=0～19	着信許可番号 （最大20件） （[-], [SP], [(], [)]を除いた着信許可番号保存）	n=0～19：nで指定したパラメータに着信許可番号Xを保存する 「x」を省略した場合、nで指定したパラメータの内容を消去する n=99　：保存されている着信許可番号を一括消去する

（2）《Sレジスタ》

◎S0	着信モード設定	(0)：手動着信 1～15：RING1～15回で自動着信
◎S2	エスケープシーケンスの文字コード	0～127（43：'+'）
S3	キャリッジリターンの文字コード	0～127（13：CR）
S4	ラインフィードの文字コード	0～127（10：LF）
S5	バックスペースの文字コード	0～32（8：BS）
◎S7	ダイヤル終了後、キャリア検出までの待ち時間	1～57（50）単位：秒
◎S12	エスケープ・コード入力の前後に必要な遅延時間	0～255（50）単位：1/50秒
S23	ビットマップレジスタ（Read Only）	0～255(27) Bit2,1,0=000:DTEスピード　300bps 010:DTEスピード　1200bps 011:DTEスピード　2400bps 100:DTEスピード　4800bps 101:DTEスピード　9600bps 110:DTEスピード 19200bps 111:Bit5,6,7を有効にする Bit4,3=00:偶数パリティ 10:奇数パリティ 11:ノンパリティ Bit7,6,5=000:DTEスピード　7200bps 001:DTEスピード 12000bps 010:DTEスピード 14400bps 011:DTEスピード 38400bps 100:DTEスピード 57600bps 101:DTEスピード115200bps
◎S25	ER信号OFF検出時間	0～255（5）単位：10ミリ秒
S32	XONキャラクタコード	0～255（17）
S33	XOFFキャラクタコード	0～255（19）

S86	接続失敗時の原因コード （Read Only）	(0)：切断理由なし 1：欠番 16：正常切断 17：着ユーザービジー 18：着ユーザーレスポンスなし 19：相手ユーザー呼出中 20：相手ユーザー圏外 21：通信拒否 22：加入者番号変更 27：相手端末故障 28：無効番号フォーマット 34：利用可回線/チャネルなし 38：網障害 41：一時故障 42：交換機輻輳 44：要求回線/チャネル使用不可 88：端末属性不一致
S88	（Read Only）	(0)：通常切断 1：発着信衝突 2：システム指定なし 3：番号情報不足 4：手動発信タイムアウト 5：自動発信タイムアウト 6：PHS圏外 10：S7レジスタによるタイムアウト 15：その他 50：発信要求拒否 52：PHSシステム不一致 53：PHS故障 54：PHS応答なし 55：PHS使用中 60：アダプタ本体間誤り訂正不一致 61：PIAFS異常終了 71：ER断 72：発信中のキー入力による切断 73：PHSリスタート

◎S93	DTE速度初期値設定 （10進数で値を設定する） 0～15：(偶数パリティ) 100～115：(奇数パリティ) 200～215：(パリティなし)	設定値=(パリティ指定番号×100)＋DTE速度指定番号 （初期値=213） 0：初期値なし 1：Reserved 2：Reserved 3：Reserved 4：Reserved 5：1200 6：2400 7：4800 8：7200 9：9600 10：14400 11：19200 12：28800 13：38400 14：57600 15：115200 パリティ 0：偶数パリティ 1：奇数パリティ 2：パリティなし
◎S103	サブアドレスの区切り	0：スラッシュ"/" 1：バックスラッシュ"＼"またはエンマーク"¥" (2)：アスタリスク"*" 3：シャープ"#"
◎S110	PTE接続指定	(0)：ATD,ATDTによるダイヤル発信はPTE接続しない 1：ATD,ATDTによるダイヤル発信はPTE接続する
◎S111	スタンバイモードへの移行時間指定	(0)：低消費電力モードには移行しない 1～255：時間（単位：秒）
◎S141	データ転送プロトコル	0：PIAFS 32Kbit/s (10)：PIAFS 64Kbit/s

注）・ ◎付きレジスタは&Wコマンドで不揮発性メモリに保存します。
・ S23,S86,S88レジスタは読み取り専用です。
・ S12レジスタの値を0にするとエスケープモードへは移行できません。
・ 範囲外の値が入力された場合は正しく設定されない場合があります。
・ 未サポートレジスタが指定された場合の値は設定されません。
未サポートレジスタには値を入力しないでください。

（3）《リザルトコード》

OK	0	ATコマンドを実行した
CONNECT	1	接続された
RING	2	リング音を検出した
NO CARRIER	3	キャリアが検出できない、キャリアが消滅した
ERROR	4	ATコマンドに誤りがある。低電圧検知で発信しようとした。
CONNECT 1200	5	1200bpsで接続された
NO DIALTONE	6	ダイヤルトーンが検出できない
BUSY	7	話中音を検出した
CONNECT 2400	10	2400bpsで接続された
CONNECT 4800	11	4800bpsで接続された
CONNECT 7200	12	7200bpsで接続された
CONNECT 9600	13	9600bpsで接続された
CONNECT 12000	14	12000bpsで接続された
CONNECT 14400	15	14400bpsで接続された
CONNECT 19200	16	19200bpsで接続された
CONNECT 38400	17	38400bpsで接続された
CONNECT 57600	18	57600bpsで接続された
CONNECT 115200	19	115200bpsで接続された
COMPRESSION:V.42BIS	67	V.42bisデータ圧縮を使用する
COMPRESSION:NONE	69	データ圧縮しない
PROTOCOL:NONE	76	非同期モードで動作する
PROTOCOL:PIAFS	82	PIAFSで接続した
PROTOCOL:PIAFS64	85	PIAFS64で接続した
TEL NO:xxxx	90	通信相手の電話番号を表示する
BREAKDOWN	91	無線装置が故障している
OUTSIDE	92	圏外である
TEL NO:NONE	94	通信相手から電話番号の通知がない
REDIAL ERROR	96	リダイヤル規制
CONNECT 32000	121	回線速度32000bpsで接続された
CONNECT 64000	122	回線速度64000bpsで接続された

付録2 ハードウェア仕様

●デジタル携帯電話データ通信アダプタ部仕様

項目	データ	FAX※1	パケット※2
適応回線	デジタル携帯電話/自動車電話回線		
回線接続方式	16芯プラグ		
通信方式	全二重	半二重	全二重
通信速度	最大9600bps	最大9600bps	28.8Kbps/9600bps
通信規格	RCR STD-27準拠		RCR STD-27F準拠
通信制御手順	-	G3/EIA class1,2	-
対応キャリア※3	NTTドコモ、au、J-PHONE、ツーカー		NTTドコモ

●cdmaOne通信アダプタ部仕様

項目	データ	パケット※2
適用回線	cdmaOne携帯電話回線	
回線接続方式	18芯プラグ	
通信方式	全二重	
通信速度	最大14.4Kbps	64Kbps/14.4Kbps/9600bps
通信規格	ARIB STD T-53、IS-707、IS-99	
対応キャリア	au	

●PHS, feelH″, H″, α-DATA32対応電話機データ通信アダプタ部仕様

項目	PIAFS1.0	PIAFS2.0	PIAFS2.1
制御コマンド	ATコマンド準拠		
同期方式	調歩同期式（非同期）		
通信方式	全二重		
通信速度	32Kbps	64Kbps/32Kbps	64Kbps/32Kbps
対応キャリア	NTTドコモ,アステル,DDIポケット	NTTドコモ	DDIポケット

※1：PC9664VRはFAX機能をサポートしておりません。
※2：パケット通信対応の電話機と、パケット通信の契約が別途必要です。
※3：デジタル携帯電話800MHz、1.5GHzタイプが使用可能です。アナログタイプではご使用いただけません。

●一般仕様

型番	PC9664VR	PC9664Ⅴ	PC9664Ⅲ
電源	単4アルカリ乾電池×2		
消費電力	150mW(typ※)	200mW(Max)	200mW(typ※)
外形寸法(mm)	55.0(TW)× 54.0(BW)× 57.0(D)×26.0(H)	74.0(TW)× 84.0(BW)× 124.5(D)×14.5(H)	80.3(W)×57.0(D) ×21.6(H)
ケーブル長	約20cm		
動作温度範囲	0～+40℃		
動作湿度範囲	90%以下（結露しないこと）		
質量 (乾電池・ケーブル含まず)	約32g	約70g	約50g
認定番号	A01-0023JP	A99-0734JP	A00-1059JP

※Typical……使用中の標準的な数値

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のPDA本体と電話機種名。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	**http://www.iodata.co.jp/support/**

■郵便

住所	〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンター 「SnapConnect(PC9664シリーズ)」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3644　東京　03-3254-1144
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社PLANTコールセンターへお問い合わせください。
（【PLANTコールセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先※までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）